

# 地域安全マップコンクール'18募集要項

## 1 「地域安全マップ」作成の目的

小学生が、通学路や平素の遊び場などの安全度を友人や保護者と一緒に確認し、その結果を「地域安全マップ」にまとめることにより、危険を予測したり回避したりする力を養うことを目的とする。

## 2 主催

- (1) 茨城県
- (2) 茨城県教育委員会
- (3) 茨城県警察本部
- (4) 茨城県防犯協会

## 3 参加対象者

茨城県内の小学校に在学する児童

## 4 応募期限（警察署提出期限）

平成30年9月6日（木）

## 5 実施要領

### (1) 区分、作成方法及びタイトル例

#### ア 低学年の部（1・2年生）

- ・ 家族などととも、学区内の行動範囲を歩くなどして資料を集め、話し合いながら作成する。
- ・ タイトル例「家族でつくる地域安全マップ」

#### イ 中学年の部（3・4年生）

- ・ 同級生や友人などとグループを作り、学区内の行動範囲を歩くなどして資料を集め、互いに協力し合って作成する。
- ・ タイトル例「ぼくたち、わたしたちの地域安全マップ」

#### ウ 高学年の部（5・6年生）

- ・ 通学班員や同級生などとグループを作り、学区内の行動範囲を歩くなどして資料を集め、低学年や中学年などみんなが活用できるマップを作成する。
- ・ タイトル例「みんなのための地域安全マップ」

### (2) マップサイズ

最小でA4判、最大で模造紙1枚の大きさ

### (3) グループ人数

8名以内（1名での作成も可）

### (4) 留意事項

ア 異学年生が混在する場合

異なる学年の生徒が混在するグループで作成する場合は、その最高学年生を基準とする区分で作成する。

#### イ 作成のポイント

別紙「地域安全マップの作り方」、「地域安全マップづくりのポイント」を参考にする。

#### ウ 地図に落とす対象項目例

(ア) 街で発見した「危険な場所」と「安全な場所」

(イ) その他

子ども被害犯罪（連れ去り、わいせつ、暴行等）、水難事故の発生のおそれある危険箇所、及び災害時の避難場所、110番の家（店）、不審者情報（県警ホームページ「地図で見る安全情報（不審者情報マップ）」の活用）など。

#### エ マップのエリア

おおむね学区内を標準エリアとする。

#### オ 地域住民との連携

「危険な場所」や「安全な場所」を自分で確認するとともに、警察署や交番、地域住民から話を聞くなどして安全度を確認する。

#### カ 個人のプライバシー保護

個人の名前や写真等をマップに掲載して、そのプライバシーを侵害することのないようにする。

#### キ 活動時における事故防止

「危険な場所」の確認等の活動を行う際は、父兄、先生等の保護者が同行するなどして身の安全を確保する。

### 6 応募方法

(1) 選考作品の裏面に別添「参加申込書」を、表面右下部に別添「作成ポイントチェック表」を貼り付ける。

(2) 各小学校において、児童から提出された作品を、各区分（低・中・高学年）に分け、小学校を管轄する警察署の生活安全課（係）に提出する。

(3) この募集要項は、県、県教育委員会及び県警の各ホームページにも掲載されている。

### 7 表彰

審査の結果、優秀作品に対し、「知事賞」「教育委員会教育長賞」「警察本部長賞」「防犯協会理事長賞」の4賞を、低・中・高学年の部それぞれに授与する。

※ 第40回地域安全茨城県民大会（10月10日（水））での表彰を予定

### 8 その他

優秀作品については、インターネットなどで公開するとともに、その作成者名を報道機関等に広報する。